

NEWS RELEASE

NOHMI
能美防災株式会社

坂東市職員向けの避難所運営研修で「N-HOPS」を活用

—84%が避難所開設訓練初参加、94%が「経験が少なくても開設作業を進められる」と回答—

能美防災株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:長谷川雅弘、資本金:133 億 2 百万円、東証プライム市場)は、2026 年 9 月 9 日と 11 日の 2 日間にわたり、坂東市役所で開催された職員向けの避難所運営研修において、避難所開設支援アプリ「N-HOPS(エヌ・ホップス)」を活用したトライアルを実施しました。

坂東市における職員向けの避難所運営研修は令和 3 年以来の開催となり、本トライアルには、災害時に避難所の開設を担う職員 64 名が参加しました。

参加者は、N-HOPS を活用しながら避難所開設の一連の流れを確認するとともに、受付の設置や無線による連絡など、一部の作業については実動形式で訓練を行いました。



■ 参加者の 84%が避難所開設訓練に初参加

研修後のアンケートでは、参加者 64 名のうち 54 名(84.4%)が、これまでの避難所開設訓練への参加について「今回が初めて」と回答しました。

災害時には、必ずしも避難所開設の経験が豊富な職員が現場に参集できるとは限りません。今回の研修では、こうした経験の少ない職員でも、災害時に「何を確認し、どのように行動すればよいか」を具体的にイメージできるかを確認するため、N-HOPS を活用しました。

N-HOPS では、避難所ごとの写真や図面、行動手順をスマートフォンなどの端末上に表示し、画面を確認しながら一つひとつの作業を進めることができます。

今回の研修では、N-HOPS に表示される内容を確認しながら、実際の避難所の図面上で札を動かし、開設に必要なとなる作業やその順序を確認しました。

■ 94%が「経験が少なくても避難所開設作業を進められる」と回答

研修後のアンケートでは、60名(93.8%)が「N-HOPSがあれば、経験が少ない方でも避難所開設作業を進められる」と回答しました。

また、59名(92.2%)が、今回の訓練を通じて「避難所開設作業を実施する際にどのように動けばよいかイメージできた」、62名(96.9%)が「実際に避難所を開設する際、N-HOPSを利用したい」と回答しました。

さらに、「自分が避難所を開設することになった場合、どの程度自信を持って行動できるか」について10点満点で尋ねたところ、訓練前の自信度は平均2.98点でした。一方、「N-HOPSを利用しながら開設を実施する場合」について回答した63名の平均は6.38点となりました。

N-HOPSによって、避難所開設時に必要な行動を順番に確認できることが、経験の少ない職員にとっても、実際の行動を具体的にイメージする一助となったものと考えています。

トライアル後アンケート結果



84.4% 54名 / 64名

避難所開設訓練への参加が『今回が初めて』



93.8% 60名 / 64名

N-HOPSがあれば、経験が少なくても
避難所開設作業を進められる



N-HOPSを利用した訓練後の回答

開設時の動き方をイメージできた



92.2% 59名 / 64名

実際の避難所開設時にも
N-HOPSを利用したい



96.9% 62名 / 64名



避難所開設時の自信度(10点満点)

訓練前
2.98

+**3.40**ポイント

N-HOPSを利用する場合
6.38

■通信環境が利用できない場合も想定した運用を確認

災害時には、通信環境が通常どおり利用できない可能性があります。

N-HOPSでは、このような状況にも備え、必要なデータをあらかじめ端末に保存しておくことで、通信環境が利用できない場合でも、写真や図面、行動手順を確認することができます。

また、行動手順をPDFとして出力できるため、紙のアクションカードを準備し、デジタルと紙を併用した運用にも対応しています。今回の研修でも紙のアクションカードを活用し、避難所開設の手順を確認しながら訓練を行いました。N-HOPSでは、災害時に通信環境が十分に確保できない場合も想定し、オンラインでの利用だけに依存しない避難所開設の運用を支援します。

※通信環境が利用できない場合、完了した作業のリアルタイム共有など、一部利用できない機能があります。

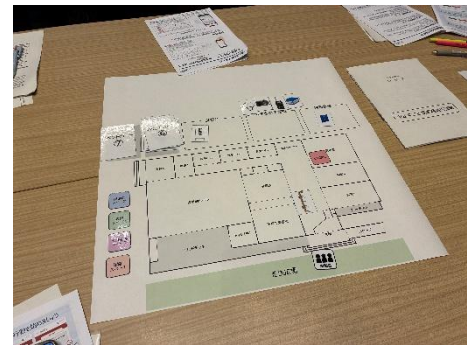
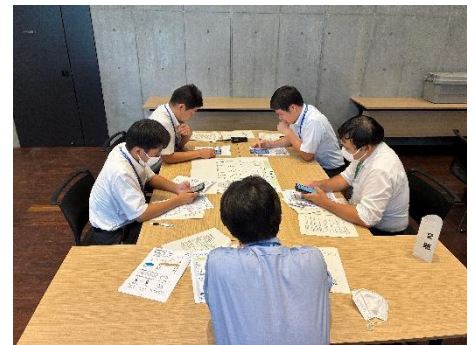
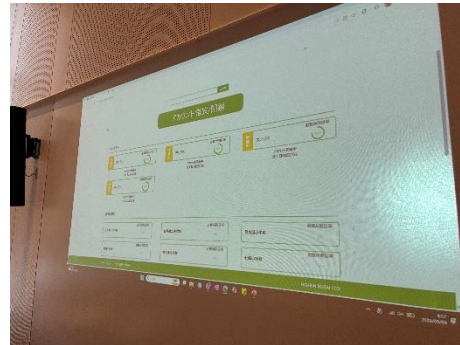
■参加者から寄せられた声

研修後のアンケートでは、N-HOPS や今回の訓練について、次のような意見が寄せられました。

- 「用意するものや次の動きがわかりやすく、スムーズに進めることができました」
- 「ミッション形式で、順を追って行動できるのでとても敷居が下がった」
- 「やることが順番で示されているので、焦らず準備に取りかけられると思いました」
- 「実際に割り当てられた避難所で、このアプリを使いながら実動訓練をしたいと思った」

N-HOPS では、担当する避難所ごとに施設固有の写真や図面、行動手順を確認しながら準備を進めることができます。

能美防災は、今回のトライアルで得られた意見や知見も今後のサービス改善に活かしながら、事前に十分な研修を受けていない場合や担当者が変わった場合でも、その場で必要な情報を確認しながら避難所開設を進められる体制づくりを支援してまいります。



【N-HOPS について】

N-HOPS は、住民や自治体職員による避難所の開設・運営を支援する Web アプリです。

サービスサイト:

<https://www.nohmi-service.jp/n-service/n-hops>

【本件に関するお問い合わせ】

能美防災株式会社 総合企画室

担当: 山田、河野

MAIL: n-hops@nohmi.co.jp

TEL: 03-3265-0218